

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 26 週（2024/6/24～6/30）感染症発生動向調査速報値（2024/7/3 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**142** 人、定点医療機関当たり **3.02** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科18定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

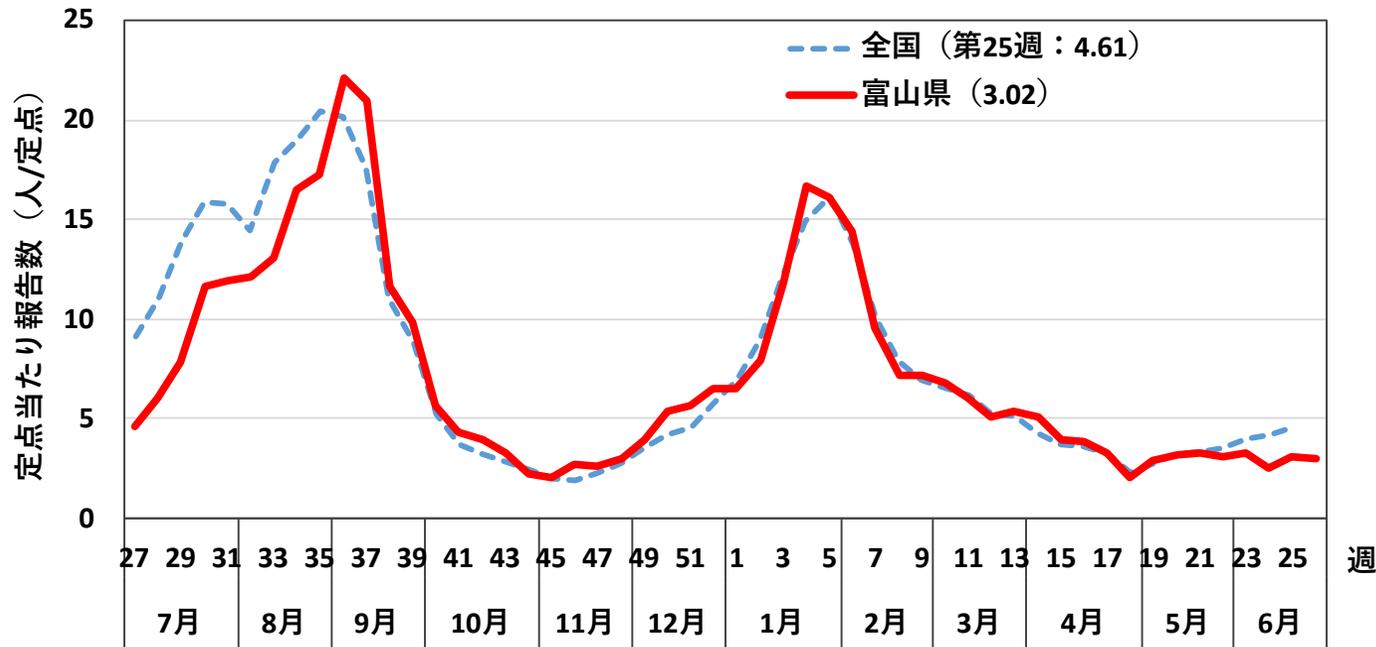
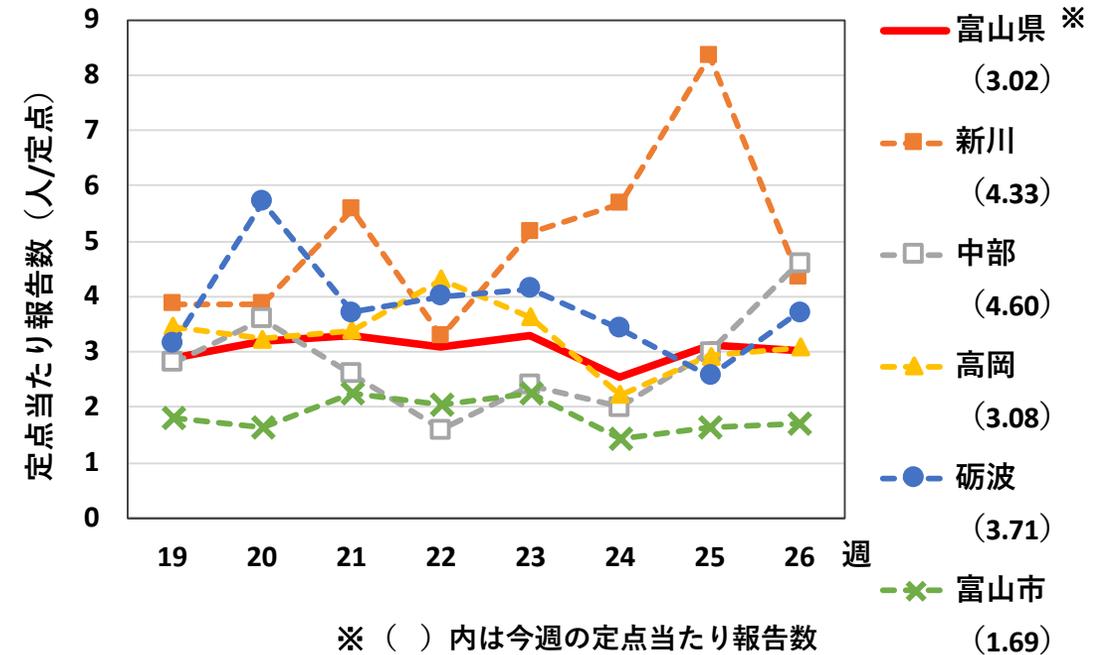


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は3.02人/定点であり、先週（3.13人/定点）からやや減少した（図1）。全国は第25週時点で4.61人/定点と緩やかな増加傾向であった。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、中部、砺波管内で増加し、新川管内で大きく減少した。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

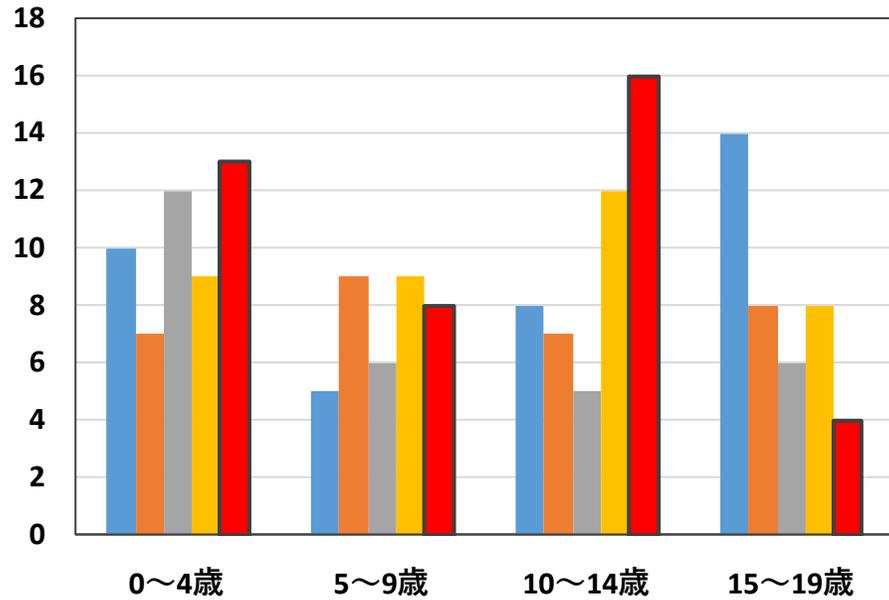
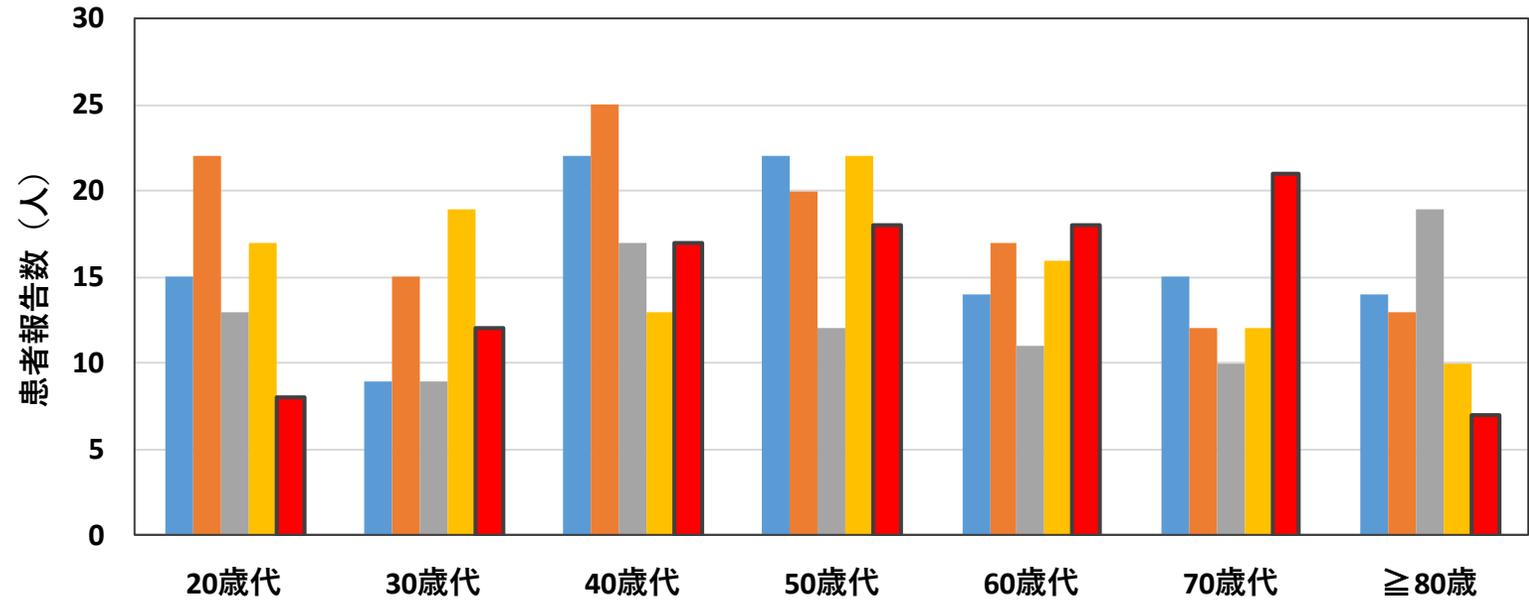


図3-2. ≥20歳



■ 第22週 ■ 第23週 ■ 第24週 ■ 第25週 ■ 第26週

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0～4歳、10～14歳、70歳代で先週から増加した。その他の年代は減少または横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

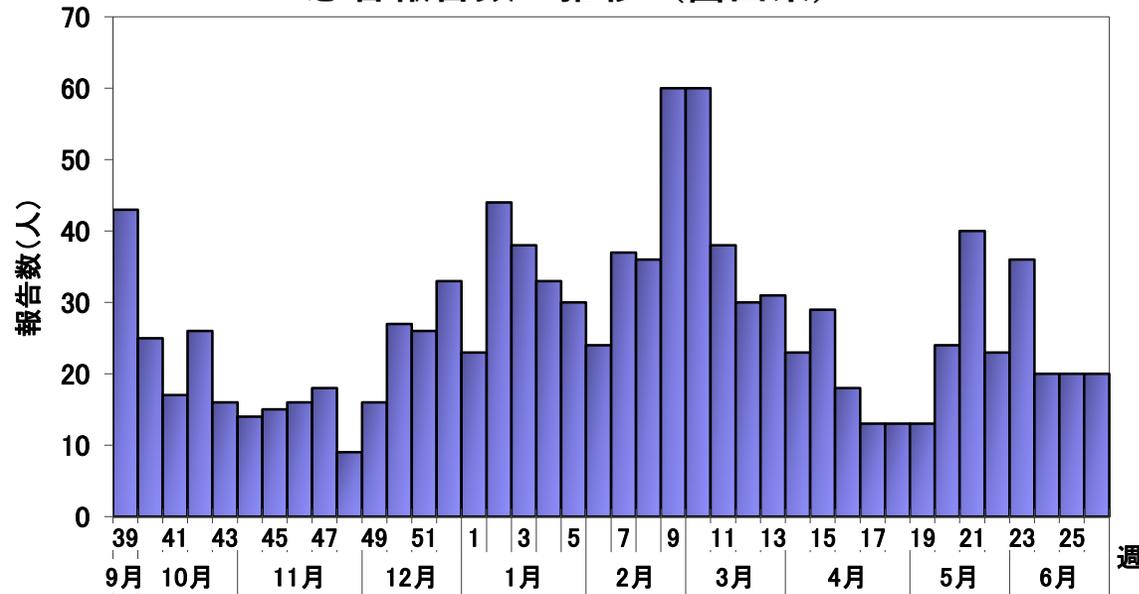
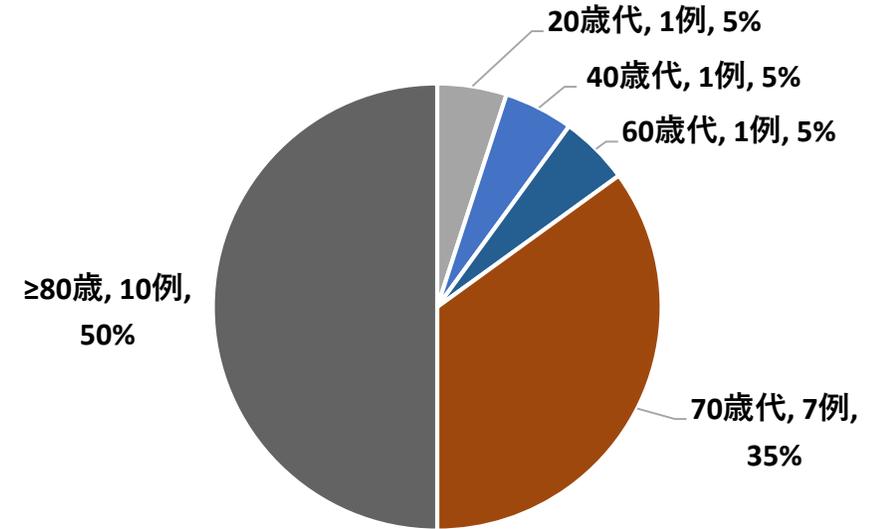


図5.COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第26週、20例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第26週に20例の入院報告があり、先週（20例）と同数であった（図4）。
- ・ 年代分布では、70歳代が7例、80歳以上が10例で、70歳以上が85%を占めた。20歳代、40歳代、60歳代で各1例の報告があった（図5）。
- ・ COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続していたが、第19週以降横ばいとなっている。全国の報告数は緩やかに増加しており、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。